

# まちづくり交付金

## 武雄温泉駅周辺地区

(佐賀県武雄市)

- 計画期間 平成22～26年度
- 面積 133ha
- 交付対象事業費 350百万円

### ポイント

武雄温泉と周辺の地域資源を活かした、中心市街地の賑わいと交流のあるまちづくり

### 地区概要

本地区は武雄温泉を中心に古くから宿場町として発展し、自然に恵まれた本市の中心市街地であるが、観光産業の低迷に加え南部市街地へ商店の流出や郊外型大型店の出店が相次ぎ、空洞化や商業者の高齢化が著しい。

### 目標

新しい交流拠点の創出により、中心市街地への交流促進を図るとともに、中心市街地の商業地としての魅力を高め、商店街の再生を図る。また、温泉や周辺の地域資源を活かした魅力ある温泉街づくりを目指す。

### 指標

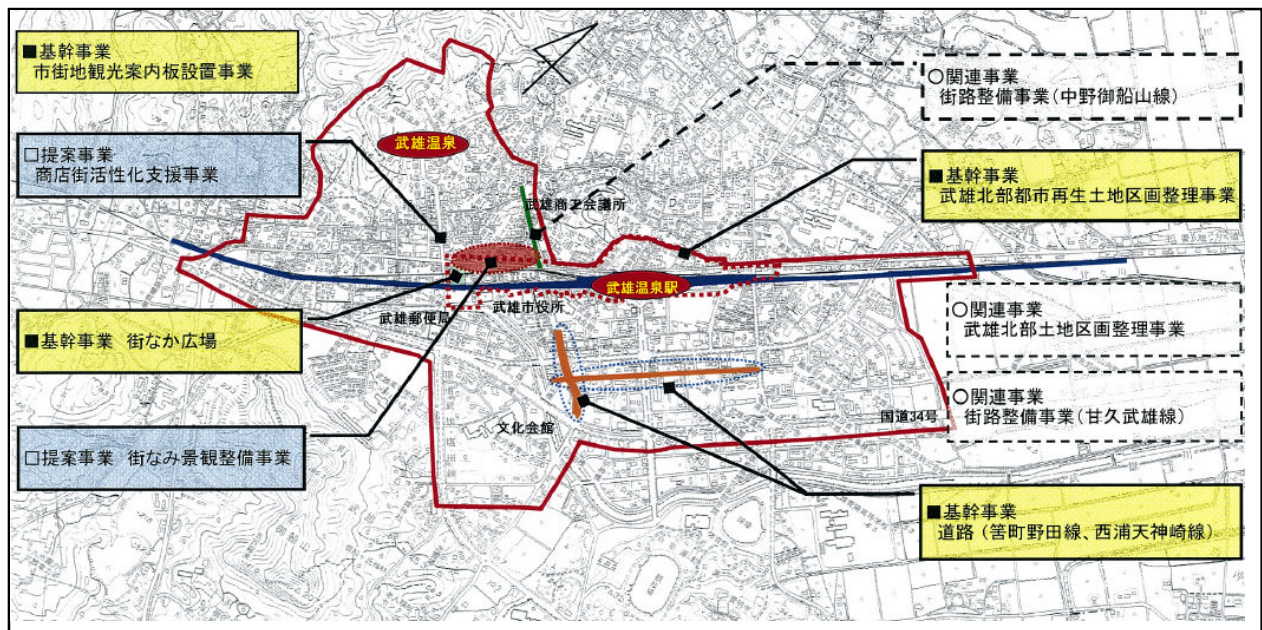
区画整理事業による幹線道路や新たな交流拠点の整備、中心商店街再生に向けた諸事業を行うことにより、交流人口の増加や空き店舗の減少を目指し、中心市街地としての魅力を高める。

歩行者等交通量	人・台 ／12時間	481 (H21)	→	495 (H26)
空き店舗比率	%	13.6 (H21)	→	11.0 (H26)
中心市街地の満足度	ポイント	3.0 (H21)	→	4.0 (H26)

### 事業内容

基幹事業 (320 百万円) → 道路 (2路線) 街なか広場 (1,635㎡) 市街地観光案内板 (地区内各所)  
土地区画整理事業 (9.0ha)

提案事業 (30 百万円) → 街なみ景観整備事業 (まちづくり協定に基づく修景事業)  
商店街活性化支援事業 (空き店舗活用、新規出店支援活動等)



## 地区の現況と課題

年間 145 万人の観光客が本市を訪れているが、中心市街地への交流人口は停滞している。この経済効果を中心市街地へ波及させるため、誘導する方策や新たな交流拠点の整備が必要である。また中心商店街は経営者の高齢化や後継者不足により、その機能・魅力が衰退しており、賑わいのある利便性の高い商業地への再生が求められる。

## 提案事業の特徴

### 街なみ景観整備事業

統一感ある景観向上を目指すため、地域や商店街で締結されたまちづくり協定に基づいて行う建築物の修景工事等の経費に対し助成する。

### 商店街活性化支援事業

中心市街地空洞化の抑制を図るため、空き店舗活用や新規出店支援の事業などに対し助成を行う。

## 計画策定プロセス

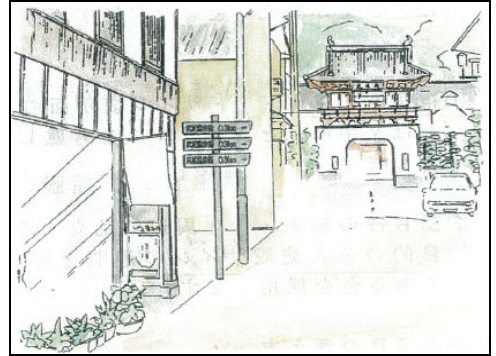
### まちおこしグループの活動

地域住民と行政で「武雄市中心市街地まちづくり研究会」を組織し、中心市街地の活性化に向けた研究活動を行った。その後、地域住民が「松原地区まちづくり検討会」を組織し、建物及び敷地等の統一感のある景観を目指した景観協定を締結した。

### 事業の調整

まちおこしグループの提言などをもとに、庁内の関係各課と事業内容の調整を行い策定した。

### 【主な事業】



市街地観光案内板（地域生活基盤施設）



街なみ景観整備事業

（地域創造支援事業）